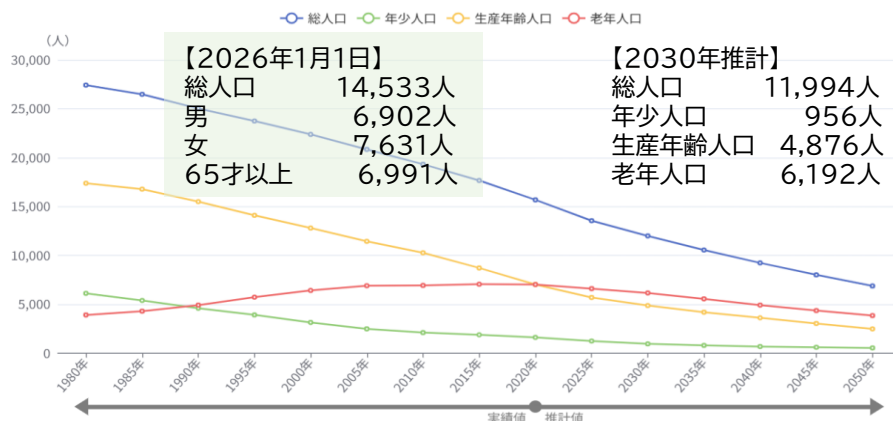


総論① 人口 地域を支える基礎的な条件となる人口について、年齢階級別に推移を既観します。

熊本県芦北町

①人口推移

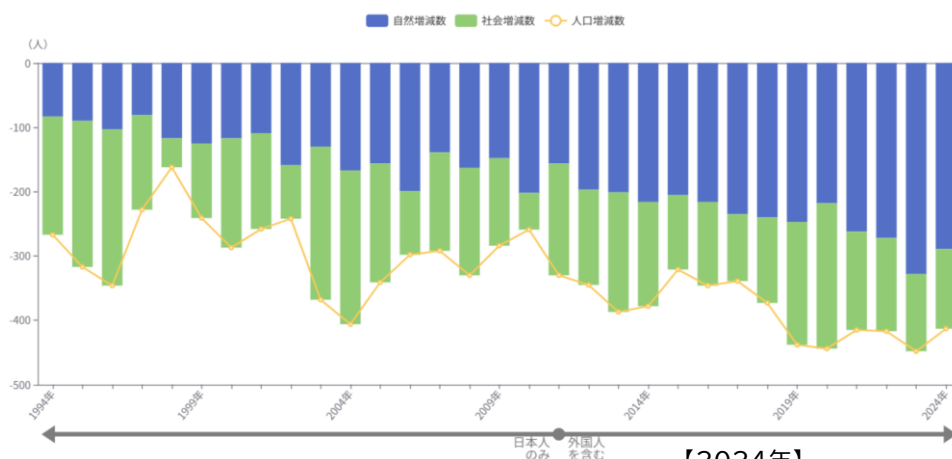
- ・総人口と年齢3区分別人口の推移を示しています。
- ・「総人口のピーク」「老年人口の増加傾向」等自地域の人口変化の概要を把握できます。



【出典】
総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
【注記】
2020年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（令和5年12月公表）に基づく推計値。

③自然増減・社会増減の推移

- ・現在までの人口推移に「出生・死亡による自然増減」「転入・転出による社会増減」の2つの要因が与えた影響を確認できます。

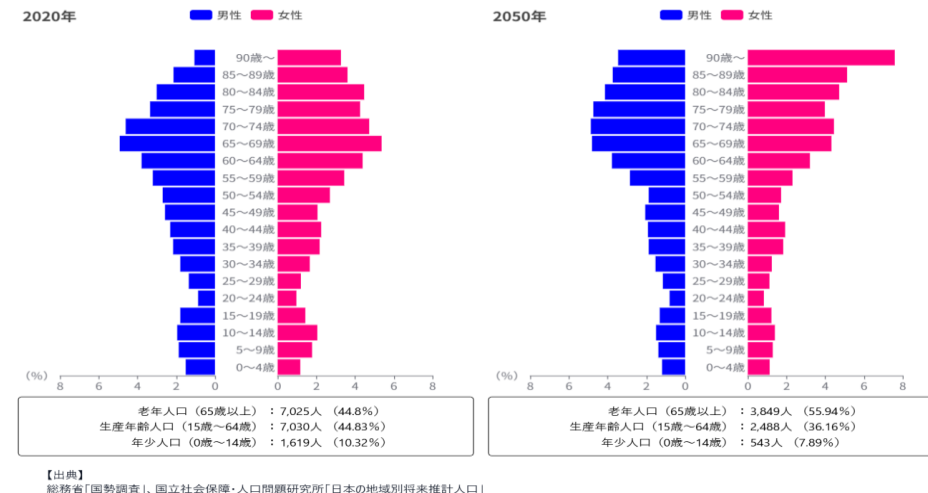


【出典】
総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」再編加工

【2024年】
自然増減 -289人
社会増減 -124人
人口増減 -413人

②人口ピラミッド

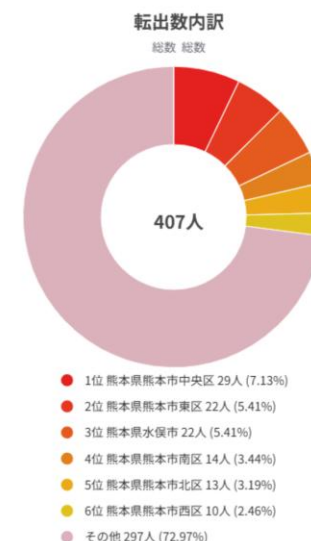
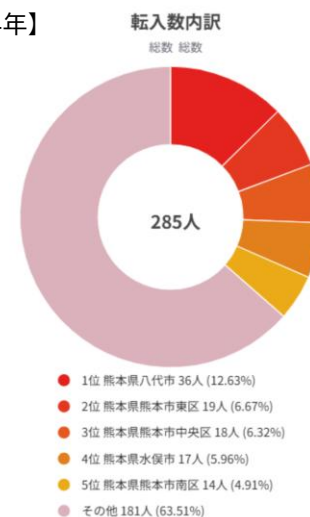
- ・男女別・5歳階級別にピラミッドで表示しています。
- ・将来の高年齢者層の大きさ、生産年齢人口の減少等も感覚的に把握することができます。



④From-To分析(定住人口)

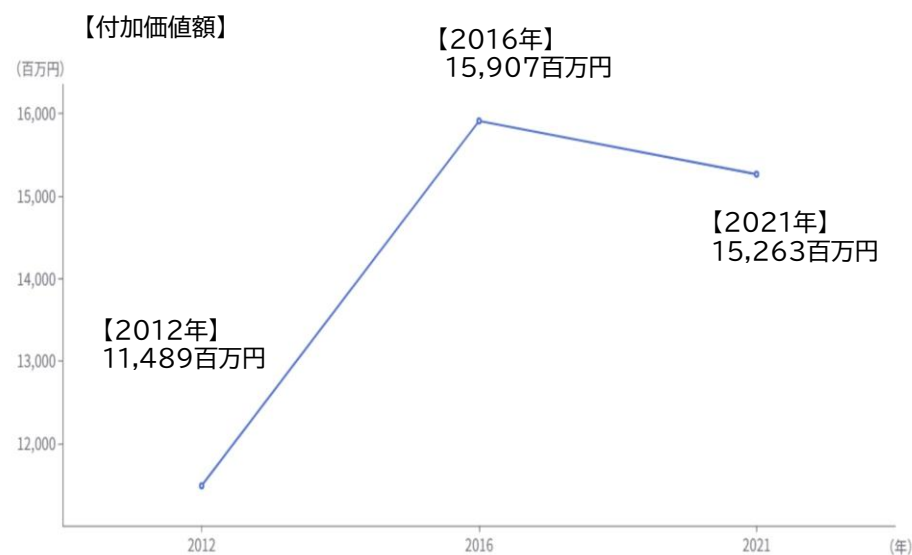
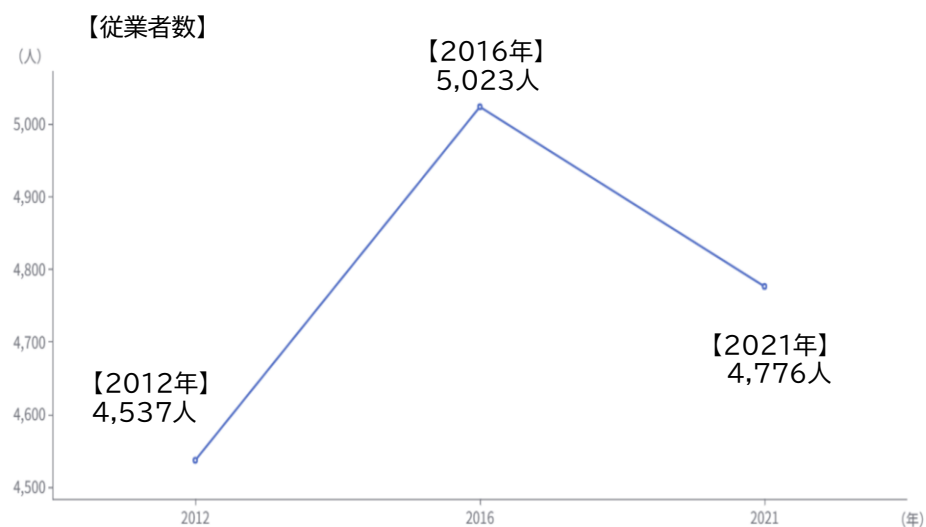
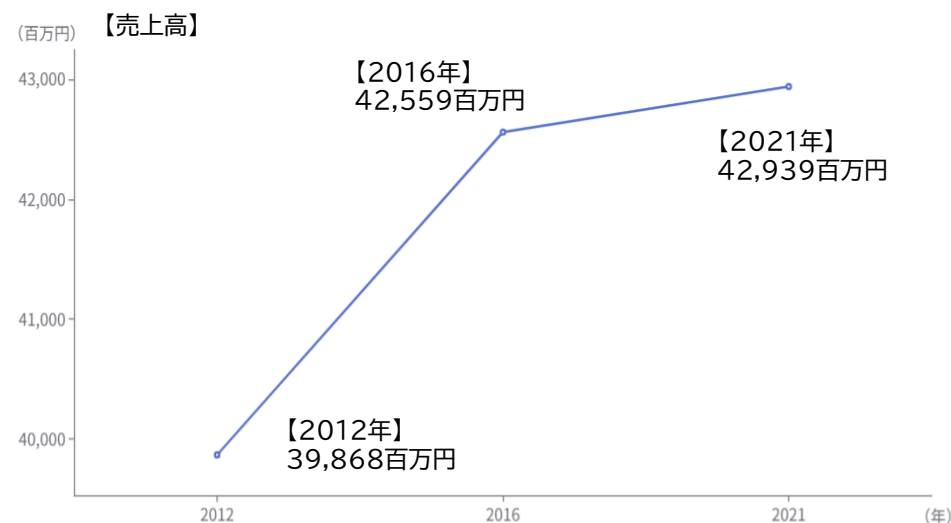
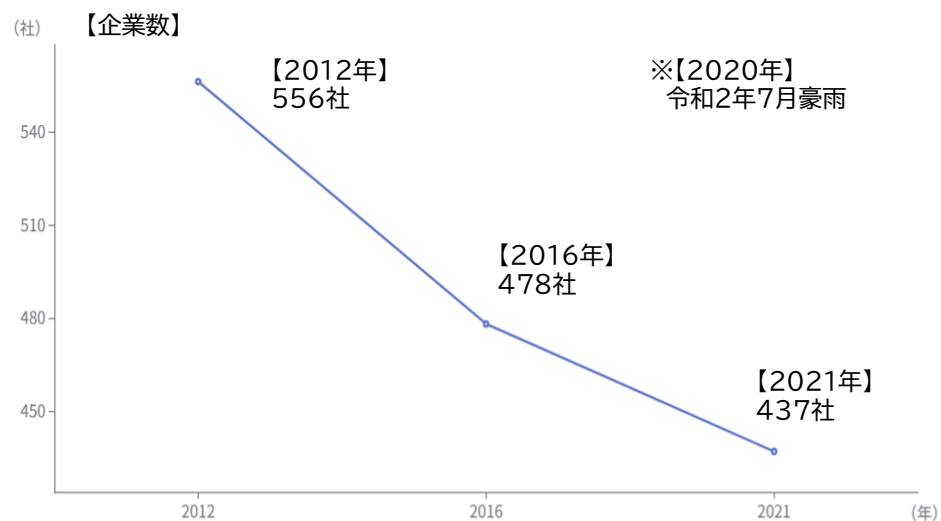
- ・自らの自治体にどの自治体からの人口移動(転入及び転出(住民票上の移動))が多くあったかを、円グラフで把握することができます。

【2024年】



①企業数・従業者数・売上高・付加価値額の推移

・地域産業全体の推移を、企業数、従業者数、売上高、付加価値額の推移により概観します。



・生産(付加価値額)を分配(所得)で除した値であり、地域経済の自立度を示している。(値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。)

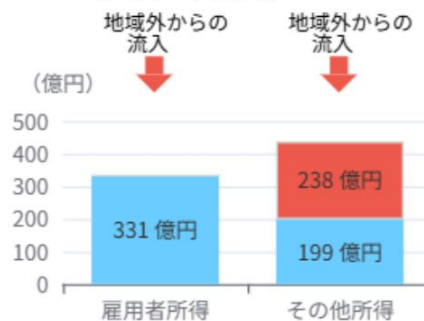
2022年
指定地域:熊本県芦北町

地域経済循環率

68.7%

所得への分配
530

分配(所得)



[詳細を見る](#)

所得からの支出
772

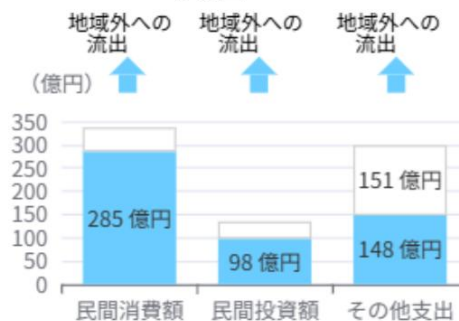
生産(付加価値額)



[詳細を見る](#)

支出による
生産への還流
530

支出



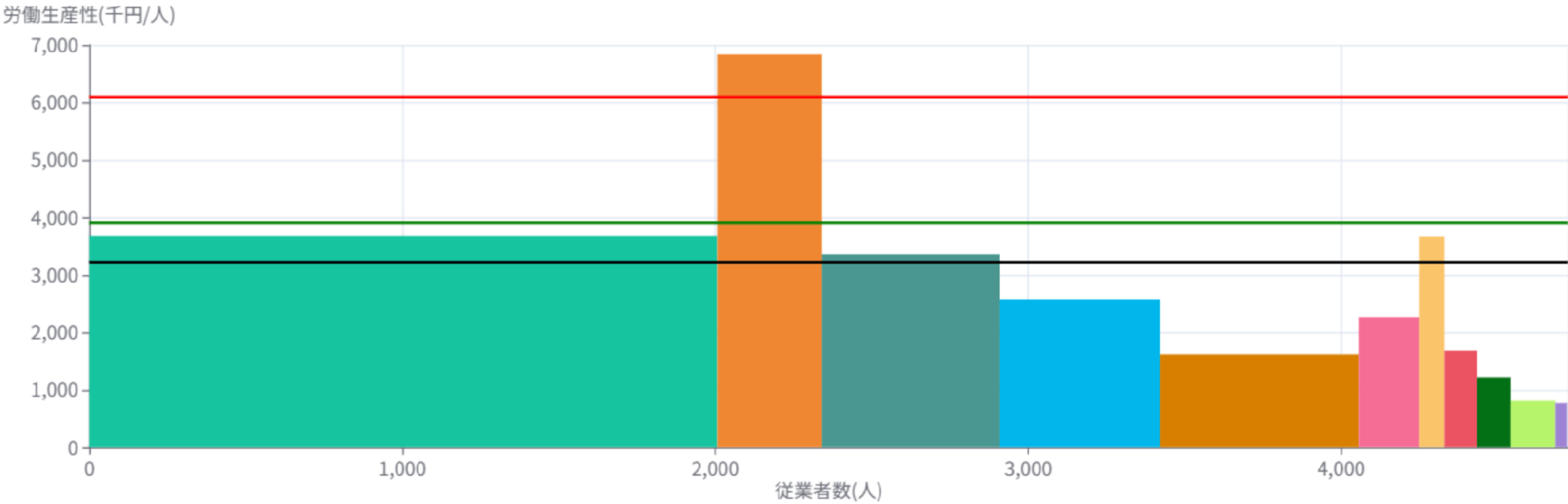
[詳細を見る](#)

・付加価値額の面から、自地域において稼ぐ力の大きな産業を概観します。

従業者と労働生産性から見る付加価値額

熊本県芦北町
2021年

— 全国の平均労働生産性
— 熊本県の平均労働生産性
— 指定地域の平均労働生産性



産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)	産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
医療、福祉	3,683	2,006	7,388	運輸業、郵便業	3,671	82	301
複合サービス事業	6,833	335	2,289	宿泊業、飲食サービス業	1,689	103	174
建設業	3,361	568	1,909	農林漁業	1,213	108	131
製造業	2,575	511	1,316	生活関連サービス業、娯楽業	810	142	115
卸売業、小売業	1,614	635	1,025	その他	769	39	30
サービス業（他に分類されないもの）	2,264	193	437				

・従業者とは、当該企業、事業所に所属して働いている全ての人をいう。 ・付加価値額＝売上高－費用総額＋給与総額＋租税公課 ・労働生産性は「付加価値額」÷「従業者数」で算出している。